

国土交通大臣 殿

住 所 北海道夕張市本町4丁目2番地
氏名又は名称 夕張市地域公共交通協議会
会長 高畠 信次

平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業）交付申請書

平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）金7,010,000円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第5条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
 (地域公共交通調査事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 夕張市地域公共交通協議会 (単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
夕張市生活交通ネットワーク計画策定調査 ・現況交通実態調査 ・市民及び利用者ニーズ把握調査 ・DMVの運行可能性調査 ・生活交通ネットワーク計画素案検討	着手:平成24年7月1日 完了:平成25年3月31日	7,010,000	7,010,000

(添付書類)

- (1) 地域公共交通調査事業の実施に関する計画
- (2) 補助対象経費に係る見積書
- (3) その他補助金の交付に関して参考となる書類
 - ・夕張市地域公共交通協議会規約

地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は、明治 21 年に炭層の大露頭が発見されて以来、「炭鉱のまち」として石炭産業とともに発展し、広大な面積に集落が点在する広域分散型の居住形態を特徴としている。

また、市街地は、炭鉱都市の特徴として、山間部の沢沿いの細長い平地部分に、炭鉱の坑口ごとに形成され、本庁・若菜地区、清水沢地区、南部地区、沼ノ沢地区、紅葉山地区の大きく5つのブロックに分散している。

現在、市の公共交通は、路線バス、鉄道、タクシーの交通手段を有し、市民の日常生活の足として、これらの公共交通機関の維持・確保は極めて重要である。

しかしながら、人口減少や少子高齢化が進展し、公共交通機関の利用者が減少していることから、公共交通の維持・確保と公共交通利用者の利便性の確保の両面に配慮した交通体系を検討していくことが課題となっている。

2. 地域の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

本市の公共交通は、前述のとおり、鉄道のほか、路線バスやタクシーがあるが、急激な人口減少に起因する利用者減に伴い、公共交通事業の運営環境は益々厳しい状況に置かれている。

このような状況の中、市としては、厳しい財政状況にあるが、市民生活の足として欠かすことができない生活交通路線バスの維持のために、赤字路線への財政支援を行っているところである。

しかしながら、市街地から離れている地域に居住する市民からは、日常の買い物や通院に支障が生じている状況にあるといった声があるほか、学校統合に伴う路線バスダイヤの変更により、利便性が低下したという意見も寄せられており、市内公共交通の実態や住民ニーズの把握を行い、市民の要望を可能な限り反映させた方策を早急に検討する必要がある。

なお、本市では、高齢化が進展していることを踏まえた新たな交通手段として、デュアル・モード・ビークル（DMV）の全国初の営業運転の誘致を進めており、このDMVを含めた総合的な交通体系の調査を行い、早急に将来的な都市構造を踏まえた交通体系を検討していきたい。なお、次年度以降は、本調査の検討結果を活かし、地域内フィーダー系統に関する生活交通ネットワーク計画を策定することを計画している。

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
1. 現況交通実態調査	市の現況（人口・世帯の状況、施設分布、道路現況等）を整理するとともに、公共交通の運行状況、運行実績、交通空白地帯等の公共交通現況調査を行い、実態を把握する。
2. 市民及び利用者ニーズ把握調査	市民、公共交通利用者への調査のほか、医療・教育・福祉・商工等関係機関や民間交通事業者等にヒアリング調査を行い、公共交通ニーズの把握を行う。
3. DMV の運行可能性調査	本市におけるデュアル・モード・ビークル（DMV）の運用可能性の調査を行い、ネットワーク計画の検討に生かす。
4. 生活交通ネットワーク計画素案検討	市内における持続可能で最適な公共交通の検討及びその円滑な導入方法・スケジュール等の検討を行い、住民説明会を開催する。

4. スケジュール				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。				
調査の名称	4月	9月	12月	3月
1. 現況交通実態調査		——		
2. 市民及び利用者ニーズ把握調査		——		
3. DMV の運行可能性調査		——		
4. 生活交通ネットワーク計画素案検討			——	
5. 夕張市地域公共交通協議会	● (5月)	● 11月		● 3月

5. 予算計画			
調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
1. 現況交通実態調査	386千円	386千円	0千円
2. 市民及び利用者ニーズ把握調査	2,163千円	2,163千円	0千円
3. DMVの運行可能性調査	2,430千円	2,430千円	0千円
4. 生活交通ネットワーク計画素案検討	1,237千円	1,237千円	0千円
5. 事務費 (協議会運営費)	794千円	794千円	0千円
小計	7,010千円	7,010千円	0千円